

2019 年度の活性化協議会の実施内容

1. ミャンマーにおける統合水資源管理マスタープランについて

平成 30 年度に調査対象としたミャンマーにおける統合水資源管理マスタープランの案件候補について、引き続きミャンマー政府内関係機関との調整を進め、必要な情報の提供等により、ミャンマー国内におけるマスタープラン作成に向けた手続き等を支援する。

2. 2019 年度に新たに調査対象とする案件候補について

2019 年度に新たに調査対象とする案件候補については、必要となる目標・課題設定や課題対応策の概略検討を行い、相手国政府の関係機関に提案する。

なお、目標・課題設定に当たっては、環境や社会的な影響の軽減等に十分配慮し、日本技術の適用可能性について検討する。

3. 水資源分野における技術情報の整理

海外での案件を検討する際、我が国が保有している技術（シーズ）と相手国側のニーズのマッチングを促進することで、我が国事業者が有する技術が海外で活用される機会を増やすことが重要である。

水資源分野に関して日本に優位性がある技術のうち、海外展開の可能性のある技術について、当該技術を保有する企業・団体等の協力を得て、「水資源分野における日本の技術集（案）」としてとりまとめる。

以 上